

わたたくしたちは、豊かな緑と水を守り、潤いのある住みよい柏をつくるために、この憲章を定めます。

1. たかひに話し合っ、心のかよふ明るい柏をつくりましょう。
1. 老人を敬い子どもを愛する、あたたかい柏をつくりましょう。
1. 環境をととのえ、安全できれいなまち・柏をつくりましょう。
1. 教育を重んじ、健康で、文化の薫り高い柏をつくりましょう。
1. 国際理解を深め、平和な柏をつくりましょう。

人のうごき 223,899人 (前月より+1,032人) 64,464戸 (前月より+286戸) (53.1.31現在) 発行/柏市役所 柏市柏5丁目10番1号 編集/市長公室広報広聴課 毎月1日15日発行 TEL 67-1111内線223

# 永楽台に近隣公園

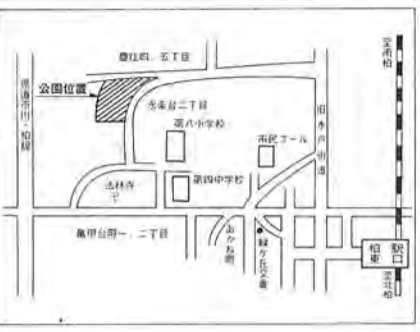
## 緑地の確保と憩いの場に

年間九千人も増える人口と五千戸も建設される住宅——このように都市化が進む中であって、緑とオープンスペースの減少が深刻な問題となつていきました。失われた自然は二度と元には戻らないと言われる中で、市民の皆さんからの「公園をつくって」との要望は高まる一方です。事実、現在の市民一人当たりの公園面積は、わずか約〇・八平方メートルで、県平均の約二・六平方メートルには及びません。市では、こうした現状をふまえて公園整備事業の一環として、昭和五十三年度から、永楽台二丁目「永楽台近隣公園」を、またあけぼの山公園の一角に「水生植物園」を併設しようと計画しています。

## 水生植物園もお目見え

### あけぼの山公園の拡張で

今、市で建設計画が進められている永楽台近隣公園は、敷地面積一平方メートル、用地は、昭和五十三年から三年の期間を要して一億二千五百円で購入したもので、建設工事は、五十三年度から二年間の継続事業として行われます。計画では、樹木など、現在あるものはできるだけ利用し、自然をそのまま残すことにしています。園内には、あづま家、バーゴラ(目よけだな)、野外テニール、それに芝生広場や冒険広場、二層幅の園路などを設ける予定です。さらに、公園の周囲は、自然の石や木、岩を組み合わせたかきねにし、また時代に合った遊具類も備



永楽台近隣公園完成予想図

えた、親子ともども楽しく過ごせる公園にしようとしています。一方、水生植物園(二万二千平方メートル)は、利根川を見下ろせる施設のあけぼの山公園(二万七千平方メートル)に併設し、本年中には完成させることを予定しています。この水生植物園には、菖蒲、アヤメなどの水生植物を植えるとともに、夏には、最近市内で見られ

なくなつたホタルが飛びかうような環境の公園を目指したいといっています。この公園計画を進めるため、市では昨秋に、市内増尾にあるニッカウ井スキー柏工場の協力を得て、同工場敷地内にホタルのエサになるカワナシの養殖場と、同工場の深井戸を水源とする、平家ホタルの養殖池をつくり、現在約千匹のホタルの幼虫を飼育しています。このホタルが夏の夜を乱舞するのを見たいといっています。



水生植物園に飛びかうホタルを養殖する試験場(ニッカウ井スキー柏工場内)

## 防災や避難場所にも活用

昭和四十九年に「緑の保護条例」を設けて以来、地域や樹木を保護地区や保護樹木として指定するなど、緑地帯の確保を積極的に進めてきました。こうした緑の保護行政の一環として、公園整備事業があります。現在市内には、柏公園とあけぼの山公園の大規模な公園と、六カ所の緑地帯、それに児童公園など合わせて百四十カ所、約十八万平方メートルの公園があります。しかし、これも市民一人当たりの面積に換算すると、わずか約〇・八平方メートル、県平均の約二・六平方メートルに及ばない状態です。人口急増と急速に進む宅地化、それに伴う人口増関連施設の整備に追われ続ける首都周辺の都市で

は、この公園・緑地のスペースづくりは、どこでも大きな悩みです。この中であって、市では独自の公園造成を進める一方で、それを補うため、人口増を誘発させる大規模な住宅開発には、公園をはじめとする公共施設づくりを開発者側に負担させるなどして、できるだけその確保に努めてきました。しかし、これらの大部分は、児童を対象とした児童公園。これからの公園建設にあたっては、単に「憩いの場」や、「子ども遊び場」としてだけとらえるのではなく、都市化の進む中で社会的に要請されている「防災地域」として非常災害時の「避難場所」としても考えなければなりません。同時に、地域住民に共通したオ

するのも間近でしょう。あけぼの山公園は、市内では数少ない桜の名所として、また、秋には紅葉も美しいモミジの名所として、これまでも市民に親しまれています。さらにこの水生植物園が加わると、初夏のアヤメ、菖蒲、夏のホタルという風情も加わり、四季を通じて楽しむこともできそうです。

## 住民税 申告はお済みですか

11日(土)も5時まで受け付け

住民税(市県民税)、所得税の申告受け付けが始まっています。申告期限は三月十五日です。まだお済みでない方はお早めに申告しましょう。期限間近は窓口が大変混雑し、長時間お待ちいただくことがあります。なお、住民税は十一日(土)も平日どおり午後五時まで受け付けます。

### ▽申告の窓口と問い合わせ

- 住民税 市役所市民課(三階大会議室、内線三二七・二四)
- 所得税 松戸税務署(〇四七三二63-1171)
- ▽申告に用意していただくもの

### ▽源泉徴収票、または昭和五十三年中(一月〜十二月)の所得のわかるもの(帳簿、決算書、給与支払明細書など)

○医療費 社会保険料、生命保険料、損害保険料、小規模企業共済等掛金、雑損などの控除を受ける場合は、支払い証明書が領収証

### ▽住民税の申告をしていただく方

○昭和五十三年一月一日現在、柏市内に住所、居所があり、五十二年中に所得があった方。ただし、確定申告をした方や、給与所得だけで勤務先(会社)から給与支払報告書提出されている方は申告の必要がありません。

### ▽所得税の確定申告をしていただく方

○昭和五十三年中の総所得金額、課税所得金額の合計額から各種控除(基礎、扶養、医療費、社会保険料、生命保険料等)を差し引いても引ききれない方

### ▽そのほか住民税の申告書提出していただく方

市県民税の申告用紙が送られた方で、昭和五十三年中所得がなかった場合でも、その旨を申告書の裏面(所得がなかった方の記載欄)に記入して提出を。なお、昭和五十三年中に柏市に転入した方にも市県民税の申告書を送ってありますが、もし届いていない場合は、最寄りの出張所か市役所で受け取って下さい。

### ▽申告しないといふとき困ります

各種証明書(所得、課税、納税等の証明書)が必要になったとき、たとえば保育園入園等と申請、児童扶養手当や私立幼稚園就園奨励費補助金および年金の受給申請、その他金融機関からの融資を受けようとするときに証明書を発行することができません

### 【訂正】本紙二月十五日号の一面、市県民税の申告受付の記事中、松戸税務署と東葛飾支庁の電話番号に誤りがありました。正しい電話番号は次のとおりです。松戸税務署(〇四七三二63-1171)、東葛飾支庁(〇四七三二61-1171)



3月15日(土) 15時

# 51年工業統計

## 製造品出荷額 2,200億円に

### 前年より一一・九%伸びる

#### 事業所・従業者は減少

##### 事業所

市内にはどのような工場があつて、どんなものが生産されているかご存知ですか。このほど、昭和五十一年十二月三十一日に行われた「昭和五十一年工業統計調査」の集計結果が発表され、これによつて本市工業の実態が明らかになりました。本市の基幹産業は、駅前商店街などのイメージから「商業都市」とみられていたようですが、工業の年間製造品出荷額は商業の年間販売額二千四百四十四億円を二十六億円も超越。また、従業者数においても百六十八人上回り、工業は依然、市の産業の要となつています。一方、県内においても十、梅林、根戸の三工業団地を中心として、主要な内陸工業地域として位置づけられています。統計結果によると、昭和五十一年十二月三十一日現在における本市の事業所数は五百五十七、従業者数一万三千八百五十五人で、前年度に比べ十九事業所、二百九十六人減少しているものの、製造品出荷額は二千二百六十億九千六百七十九万円の前年度に比べ一一・九%の伸びをみせました。この額は、市原市、千葉市等に次いで県内六番目に多いものです。

▼事業所の総数は五百五十七で、前年に比べ三・三%（十九事業所）減少しています。中でも衣服、ゴム、木材など軽工業が大幅に減少し、反面、鉄鋼、化学、精密機械など重化学工業がわずかながらの伸びをみせています。

▼事業所の種類は①の図のとおりで、事業所の種類は②の図のとおりです。事業所は従業者数によって、小企業、中企業、大企業に分類されます。小企業は一〜二十九人、中企業三十〜二十九十九人、大企業三百人以上で、この分類により「従業者規模別事業所数」を③の図でみると、小企業が四百八十五で全体の八七・一%を占め、次いで中企業の六十二（一一・二%）、大企業はわずか十（一・八%）となつています。

##### 従業者

▼従業者は一万三千八百五十五人（前年より二・一%減）。業種別で見ると食品に従事する人が最も多く全体の二四・六%を占め、次いで電機（一四・一%）、金属（一四・〇%）の順となつています。

▼また規模別分類によると、中企業に従事する人が最も多く五千二百六人で全体の三七・七%を占め、次いで大企業の四千六百五十六人（三三・七%）、小企業に従事する人は三千九百四十三人で二八・六%となつています。

##### 製造品出荷額

▼製造品の出荷額は二千二百六十億九千六百七十九万円、前年より一一・九%の増加をみせています。増加の著しいものは鉄鋼（七五・一%増）、パルプ・紙（六九・六%増）、化学（五八・五%増）などで、反面、木材・木製品（九二・五%減）、輸送用機械（三二・二%減）、ゴム（二二・九%減）など九業種が減少しています。

### 3発とも無事に処理 増尾西小裏の不発爆弾



増尾西小裏の山林に埋設していた不発爆弾三発の発掘作業は、2月5日から進められていたが、2月21日、この作業の最後の処理である「信管除去」作業が行われ、三発とも無事に処理されました。

当日は、付近の住民が避難した午前9時51分、自衛隊員の手によって慎重に進められ、11時36分信管の取りはずしを終了しました。発掘された不発爆弾は、33年も地下に眠っていたわけには「サビ」もなく十分爆発能力がある」という代物。事故もなく掘り起こされて「柏の戦後処理」もやがて終わりました。（写真は信管を取りはずした後引き上げられる爆弾）

### 進学・転勤の時期

#### 市民課窓口混み合います

##### なるべく平日ご利用を!

市役所の「玄関口」市民課、各出張所は、例年三月から五月にかけて、進学や就職、あるいは転勤などによる転出入の手続きにおいでになる方が大変に混み合います。とくに、日曜、祝日前後の

日がひびく、平日を四〇%も上回る混雑ぶりです。このた

め場合によっては、戸籍謄本の申請だけでも長時間待たなければならぬことになりま

さい。火曜日から金曜日の午前10時ごろまでと、午後三時過ぎが比較的すいています。なお、住民票に限っては、窓口混雑緩和の一環として、電話による予約制度を設けています。これは、必要とする住民票を前もって電話で申し込んで

いたほうが方法で、その際は、申請人（または必要人）の住所、氏名、受領する日などをハッキリと伝えて下さい。また受領に来るときは、印鑑をお忘れなく。○電話予約の申し込みなど詳しくは市民課（内線二三六）または各出張所にお問い合わせ下さい。

10日から総合交通規制 明原などの西口地区で 柏警察署では、三月十日から、明原、豊四季台を中心とした西口地区（あけぼの、篠籠田、西町などの各一部）四・八平方キロを第一、二次都市総合交通規制の対象区域とし、規制の強化を図ることにしました。これは、①通過交通と地

#### ① 従業者の規模別事業所数



▼業種別にみる製造品の出荷額は、一位が食料品で全出荷額の三三・四%（七百五十五億円）を占め、他を抜きでいます。次いで多いのが電機の一五・五%。事業所数でトップの金属製品は八・四%で三位となつています。▼一事業所当たりの出荷額は平均四億円で、これは前年を約五千万円上回っています。また、従業者数一人当たりの出荷額は千六百三十七万円の前年より二百万円上回っています。

#### ② 昭和51年業種別事業所数、従業者数、製造品出荷額

業種	従業者数		事業所数		製造品出荷額	
	2,000人	1,000人	100	50	100億	50億
食品	494	551	37	13	31億8,814万円	23億6,261万円
繊維	44	232	7	24	4億3,251万円	15億2,907万円
衣服	232	175	27	23	183億4,779万円	12億3,896万円
木材	175	539	2	16	87億9,012万円	51億3,403万円
家具	539	615	4	6	16億1,933万円	112億283万円
紙・パルプ	615	289	1	31	39億5,565万円	131億3,332万円
出版・印刷	289	181	5	8	189億6,620万円	128億6,453万円
化学	181	476	1	28	350億3,450万円	6億784万円
ゴム	476	1,932	1	54	7億180万円	115億1,653万円
皮革	1,932	1,326	5	12		
窯業	1,326	1,941	5	12		
鉄鋼	1,941	1,040	5	12		
非鉄金属	1,040		5	12		
金属			5	12		
機械			5	12		
電機			5	12		
輸送機			5	12		
精密機械			5	12		
その他			5	12		

## 秘書×7から



二月七日 青少年関係委員による合同視察の出発に際し「青少年問題がクローズアップされている現在、委員の皆様が果たず役割は大きなものがあります。今後、より一

二月十六日 姉妹都市提携五周年を記念して、柏市・トランス市姉妹都市委員会主催による文化使節団が出発。結団式の席上トランス市長へのメッセージを団長に託し「皆さんは柏市を代表するいわば民間の外交官でもありますので、日本文化を紹介しながら、友好親善をさらに深めて頂きたい」と激励。

二月十七日 不祥事件にともなう人事異動を発令。「人心一新により新たな気持ちで

二月十一日 第九回を迎えた青少年のつどいに、「未来への大きな夢と希望をもち、その実現に向かって進んでほしい」と励ます。その足です

## 今月の市民相談

法律相談	6日・13日・27日 10時～3時	市民相談室 (市顧問弁護士)
人権相談	15日 10時～3時	市民相談室 (人権擁護委員)
行政相談	27日 10時～3時	市民相談室 (行政相談員)
交通相談	10日 市役所地下和室・24日 市役所第6会議室 10時～3時	(県交通相談員)
移動少年相談	4日 1時～4時	田中小 (児童相談所係員、市役所職員)
結婚相談	毎週日・水曜日 1時～3時	中央公民館
心配ごと相談	毎週水曜日 10時～3時	中央公民館
消費生活苦情相談	毎週月・木曜日 10～4時	消費生活センター (県消費生活苦情相談員)
家庭児童相談	毎週月～金曜日 9時～4時 土曜日 9時～正午	婦人児童課 (家庭児童相談員)
発明特許相談	毎月第1土曜日 1時～3時	市民サロン (弁理士)

たばこは市内で買いました!!

# 柏交響楽団 文化会館で第1回演奏会

## 3月12日「新世界」など3曲



初めての定期演奏会を前に、練習にも熱が入る団員たち

昨年三月結成された、柏交響楽団(団長渡辺圭一氏)では、来た同交響楽団は、東葛飾高校の吹奏楽部出身メンバーなどが中心の定期演奏会を開くことになり、昨六月には、柏市交響楽団の専属指揮者をして、初藤田翠也氏を指揮者に迎え、初の定期演奏会を前に、毎週一回練習にはげんでいます。

今回の演奏会では「柏で初めての交響楽団として、市民のかたにクラシック音楽を身近に楽しく聞いてもらいたい」と、特に音楽の授業などでもなじみの深い三曲を選曲。会社員や公務員、教員、大学生のほか小・中学生や主婦なども混じった団員は、藤田さんのきびしい指導を受け一生懸命。今後の長い演奏活動の第一歩となる、こんどの旗上げ公演に「たくさん市民のかたが来場して下さい。演奏曲目や入場方法などは次のとおりです。」

### 演題 教育のねらいとは 家庭のあり方をとく



文化会館で「市民のつどい」

去る二月十六日、市民文化会館で、鈴木健二さん(NHKチーフアナウンサー)の「家庭教育講演会」が開かれました。この講演会は、「柏市民のつどい」のひとつとして行われたもので、会場は、三百人近いお母さんがたで満員。日ごろテレビでおなじみの鈴木さんの話は、具体的な数字や笑い話も混じったもので、聴衆をぐんぐん引きつけます。「核家族」の問題や、家庭でのしつけ、母親のあり方、日本と外国でのしつけや家庭の違いなど、貴重なさまざまな体験をもとに、ほろりとさせる内容もあって、非常に短かく感じる二時間でした。

○とき・ところ 三月十二日午後二時開演 市民文化会館  
○曲目 「ワグネル」 「ニューラルベルクのマイスターシンカ」  
○第一幕への前奏曲 「メンデルソーン」バイオリン協奏曲ホ短調 「ドヴォルザーク」交響曲第九番「新世界より」  
○指揮 藤田翠也氏  
○独奏 井崎真理さん  
○入場方法 前売券(200円) 自由席です。

# お隣りさん

「今、若い人の間にオカルト調とかサイケ調とかが流行してますね。おもしろいものです。これは平安時代、真言宗や天台宗の密教が普及し始めたころの仏教美術に通ずるところがあります。美の世界も歴史は巡るのでしょうか」

「若い学生のなかにも私の専門の仏教美術を専攻する者が増えていきます。古い物にあこがれる風潮ができたのでしよう。喜ばしいことです」。

古代幻想の世界に入り、その文化を現代に引き出す、今はやりの言葉で言う「仕掛人」、慶応大学教授・西川新次さん(緑ヶ丘一八一)である。

昭和十八年、太平洋戦争の最中、慶応義塾大学を卒業する。

## 文化財の調査保存に努力

### ◇…仏教美術の神髄を極める…◇

### 緑ヶ丘の西川さん

明日にも前戦に送られるかもしれぬ殺伐とした時代。死ぬ前に奈良や京都に残る古い寺や仏教美術に出会い、その美しさに心をなごませようと願ったのが一生の仕事となる。

■地元文化財保護に一役 西川さんは福井県出身。大学卒業後、上野の国立博物館を

振出しに、文部省で文化財保護の仕事をや、招かれて母校の教授となった。

市内松ヶ崎の覚王寺(住職・牛田秀一さん)所有の仏像「大日如来像」を調査し、県の文化財にしたのも西川さんの尽力。

「珍しいですね。千葉東北部には、うんと古い物や近世の物は

ともな意見である。文部省の文化財保護審議会委員、県の文化財保護委員、市の文化財保護委員などをつとめ、国のみならず地元の文化財保護にも貢献する。

「外国の学生は、ほかの国の文化・歴史を研究する人でも、



自国のことはちゃんと教養として身につけています。それに比べ日本の学生は自分の国のことも知らずに、直接外国のものに飛びつきたがりますね。やはり、まず一度は自分の国の古い文化財や古典を見直す必要があるのではないのでしょうか。新しいものの展開は、古典のなかにひそむ意義を改めて発掘するところから始まることが多いのですから」

「ただ心配されるのは、古い文化財が見せ物的に酷使され、長い間保存されてきた文化財の消耗度が急速に増しつつあること

## 「地域福祉」を語り合う

### 住民福祉シンポジウム開催

二月十四日、「第二回住民福祉シンポジウム」(主催 柏市社会福祉協議会)が開かれました。出席したのは、福祉団体の関係者や、町会、婦人会、ロータリークラブ、ライオンズクラブ、商工会議所、青少年関係団体等、市内の各種団体の代表者約百名。会場の柏ヤングプラザ(勤労青年センター)では、「福祉活動のすすめ方」「住民の連帯感について」「ボランティア活動への参加」などについての意見交換が行われました。

なかには、「ボランティア精神は、子どものうちからのしつけや教育を通して自然に身につけさせるようにしては」などの提言もなされた。ちなみに、柏市は、昨年八月に県から「地域ぐるみ福祉活動」のモデル地区に指定され、住民総ぐるみの福祉活動をしています。そんな中で地域にボランティアの芽が今まで以上に育っていくことが期待されています。



分科会ごとに、日ごろの体験談などを出し合った住民福祉シンポジウム

## 選挙投票所二カ所を増設

### 十余二青年館と中原小を予定

市選挙管理委員会では有権者数の急増に伴い、第二十投票区(西原小)と第二十八投票区(光ヶ丘中)をそれぞれ分割。新たに投票区・投票所を二カ所(第三十四・第三十五投票区)増設しました。これは、有権者の利便と、選挙事務の円滑化を図るために行われたもので、これにより市内の投票所は、三十五カ所となります。

新設された投票区・投票所は次のとおり。  
▽第三十四投票区 第二十投票区を分割し、大青田一丁目一六、十、二一、二五、三三、三七、四一、四五、四九、五三、五七、六一、六五、六九、七三、七七、八一、八五、八九、九三、九七、一〇一、一〇五、一〇九、一一三、一一七、一二一、一二五、一二九、一三三、一三七、一四一、一四五、一四九、一五三、一五七、一六一、一七〇、一七四、一七八、一八二、一八六、一九〇、一九四、一九八、二〇二、二〇六、二一〇、二一四、二一八、二二二、二二六、二三〇、二三四、二三八、二四二、二四六、二五〇、二五四、二五八、二六二、二六六、二七〇、二七四、二七八、二八二、二八六、二九〇、二九四、二九八、三〇二、三〇六、三一〇、三一四、三一八、三二二、三二六、三三〇、三三四、三三八、三四二、三四六、三五十、三五四、三五八、三六二、三六六、三七〇、三七四、三七八、三八二、三八六、三九〇、三九四、三九八、四〇二、四〇六、四一〇、四一四、四一八、四二二、四二六、四三〇、四三四、四三八、四四二、四四六、四五〇、四五四、四五八、四六二、四六六、四七〇、四七四、四七八、四八二、四八六、四九〇、四九四、四九八、五〇二、五〇六、五一〇、五一四、五一八、五二二、五二六、五三〇、五三四、五三八、五四二、五四六、五五〇、五五四、五五八、五六二、五六六、五七〇、五七四、五七八、五八二、五八六、五九〇、五九四、五九八、六〇二、六〇六、六一〇、六一四、六一八、六二二、六二六、六三〇、六三四、六三八、六四二、六四六、六五〇、六五四、六五八、六六二、六六六、六七〇、六七四、六七八、六八二、六八六、六九〇、六九四、六九八、七〇二、七〇六、七一〇、七一四、七一八、七二二、七二六、七三〇、七三四、七三八、七四二、七四六、七五〇、七五四、七五八、七六二、七六六、七七〇、七七四、七七八、七八二、七八六、七九〇、七九四、七九八、八〇二、八〇六、八一〇、八一四、八一八、八二二、八二六、八三〇、八三四、八三八、八四二、八四六、八五〇、八五四、八五八、八六二、八六六、八七〇、八七四、八七八、八八二、八八六、八九〇、八九四、八九八、九〇二、九〇六、九一〇、九一四、九一八、九二二、九二六、九三〇、九三四、九三八、九四二、九四六、九五〇、九五四、九五八、九六二、九六六、九七〇、九七四、九七八、九八二、九八六、九九〇、九九四、九九八、一〇〇二、一〇〇六、一〇一〇、一〇一四、一〇一八、一〇二二、一〇二六、一〇三〇、一〇三四、一〇三八、一〇四二、一〇四六、一〇五〇、一〇五四、一〇五八、一〇六二、一〇六六、一〇七〇、一〇七四、一〇七八、一〇八二、一〇八六、一〇九〇、一〇九四、一〇九八、一一〇二、一一〇六、一一一〇、一一一四、一一一八、一一二二、一一二六、一一三〇、一一三四、一一三八、一一四二、一一四六、一一五〇、一一五四、一一五八、一一六二、一一六六、一一七〇、一一七四、一一七八、一一八二、一一八六、一一九〇、一一九四、一一九八、一二〇二、一二〇六、一二一〇、一二一四、一二一八、一二二二、一二二六、一二三〇、一二三四、一二三八、一二四二、一二四六、一二五〇、一二五四、一二五八、一二六二、一二六六、一二七〇、一二七四、一二七八、一二八二、一二八六、一二九〇、一二九四、一二九八、一三〇二、一三〇六、一三一〇、一三一四、一三一八、一三二二、一三二六、一三三〇、一三三四、一三三八、一三四二、一三四六、一三五〇、一三五四、一三五八、一三六二、一三六六、一三七〇、一三七四、一三七八、一三八二、一三八六、一三九〇、一三九四、一三九八、一四〇二、一四〇六、一四一〇、一四一四、一四一八、一四二二、一四二六、一四三〇、一四三四、一四三八、一四四二、一四四六、一四五〇、一四五四、一四五八、一四六二、一四六六、一四七〇、一四七四、一四七八、一四八二、一四八六、一四九〇、一四九四、一四九八、一五〇二、一五〇六、一五一〇、一五一四、一五一八、一五二二、一五二六、一五三〇、一五三四、一五三八、一五四二、一五四六、一五五〇、一五五四、一五五八、一五六二、一五六六、一五七〇、一五七四、一五七八、一五八二、一五八六、一五九〇、一五九四、一五九八、一六〇二、一六〇六、一六一〇、一六一四、一六一八、一六二二、一六二六、一六三〇、一六三四、一六三八、一六四二、一六四六、一六五〇、一六五四、一六五八、一六六二、一六六六、一六七〇、一六七四、一六七八、一六八二、一六八六、一六九〇、一六九四、一六九八、一七〇二、一七〇六、一七一〇、一七一四、一七一八、一七二二、一七二六、一七三〇、一七三四、一七三八、一七四二、一七四六、一七五〇、一七五四、一七五八、一七六二、一七六六、一七七〇、一七七四、一七七八、一七八二、一七八六、一七九〇、一七九四、一七九八、一八〇二、一八〇六、一八一〇、一八一四、一八一八、一八二二、一八二六、一八三〇、一八三四、一八三八、一八四二、一八四六、一八五〇、一八五四、一八五八、一八六二、一八六六、一八七〇、一八七四、一八七八、一八八二、一八八六、一八九〇、一八九四、一八九八、一九〇二、一九〇六、一九一〇、一九一四、一九一八、一九二二、一九二六、一九三〇、一九三四、一九三八、一九四二、一九四六、一九五〇、一九五四、一九五八、一九六二、一九六六、一九七〇、一九七四、一九七八、一九八二、一九八六、一九九〇、一九九四、一九九八、二〇〇二、二〇〇六、二〇一〇、二〇一四、二〇一八、二〇二二、二〇二六、二〇三〇、二〇三四、二〇三八、二〇四二、二〇四六、二〇五〇、二〇五四、二〇五八、二〇六二、二〇六六、二〇七〇、二〇七四、二〇七八、二〇八二、二〇八六、二〇九〇、二〇九四、二〇九八、二一〇二、二一〇六、二一一〇、二一一四、二一一八、二一二二、二一二六、二一三〇、二一三四、二一三八、二一四二、二一四六、二一五〇、二一五四、二一五八、二一六二、二一六六、二一七〇、二一七四、二一七八、二一八二、二一八六、二一九〇、二一九四、二一九八、二二〇二、二二〇六、二二一〇、二二一四、二二一八、二二二二、二二二六、二二三〇、二二三四、二二三八、二二四二、二二四六、二二五〇、二二五四、二二五八、二二六二、二二六六、二二七〇、二二七四、二二七八、二二八二、二二八六、二二九〇、二二九四、二二九八、二三〇二、二三〇六、二三一〇、二三一四、二三一八、二三二二、二三二六、二三三〇、二三三四、二三三八、二三四二、二三四六、二三五〇、二三五四、二三五八、二三六二、二三六六、二三七〇、二三七四、二三七八、二三八二、二三八六、二三九〇、二三九四、二三九八、二四〇二、二四〇六、二四一〇、二四一四、二四一八、二四二二、二四二六、二四三〇、二四三四、二四三八、二四四二、二四四六、二四五〇、二四五四、二四五八、二四六二、二四六六、二四七〇、二四七四、二四七八、二四八二、二四八六、二四九〇、二四九四、二四九八、二五〇二、二五〇六、二五一〇、二五一四、二五一八、二五二二、二五二六、二五三〇、二五三四、二五三八、二五四二、二五四六、二五五〇、二五五四、二五五八、二五六二、二五六六、二五七〇、二五七四、二五七八、二五八二、二五八六、二五九〇、二五九四、二五九八、二六〇二、二六〇六、二六一〇、二六一四、二六一八、二六二二、二六二六、二六三〇、二六三四、二六三八、二六四二、二六四六、二六五〇、二六五四、二六五八、二六六二、二六六六、二六七〇、二六七四、二六七八、二六八二、二六八六、二六九〇、二六九四、二六九八、二七〇二、二七〇六、二七一〇、二七一四、二七一八、二七二二、二七二六、二七三〇、二七三四、二七三八、二七四二、二七四六、二七五〇、二七五四、二七五八、二七六二、二七六六、二七七〇、二七七四、二七七八、二七八二、二七八六、二二九〇、二二九四、二二九八、二三〇二、二三〇六、二三一〇、二三一四、二三一八、二三二二、二三二六、二三三〇、二三三四、二三三八、二三四二、二三四六、二三五〇、二三五四、二三五八、二三六二、二三六六、二三七〇、二三七四、二三七八、二三八二、二三八六、二三九〇、二三九四、二三九八、二四〇二、二四〇六、二四一〇、二四一四、二四一八、二四二二、二四二六、二四三〇、二四三四、二四三八、二四四二、二四四六、二四五〇、二四五四、二四五八、二四六二、二四六六、二四七〇、二四七四、二四七八、二四八二、二四八六、二四九〇、二四九四、二四九八、二五〇二、二五〇六、二五一〇、二五一四、二五一八、二五二二、二五二六、二五三〇、二五三四、二五三八、二五四二、二五四六、二五五〇、二五五四、二五五八、二五六二、二五六六、二五七〇、二五七四、二五七八、二五八二、二五八六、二五九〇、二五九四、二五九八、二六〇二、二六〇六、二六一〇、二六一四、二六一八、二六二二、二六二六、二六三〇、二六三四、二六三八、二六四二、二六四六、二六五〇、二六五四、二六五八、二六六二、二六六六、二六七〇、二六七四、二六七八、二六八二、二六八六、二六九〇、二六九四、二六九八、二七〇二、二七〇六、二七一〇、二七一四、二七一八、二七二二、二七二六、二七三〇、二七三四、二七三八、二七四二、二七四六、二七五〇、二七五四、二七五八、二七六二、二七六六、二七七〇、二七七四、二七七八、二七八二、二七八六、二二九〇、二二九四、二二九八、二三〇二、二三〇六、二三一〇、二三一四、二三一八、二三二二、二三二六、二三三〇、二三三四、二三三八、二三四二、二三四六、二三五〇、二三五四、二三五八、二三六二、二三六六、二三七〇、二三七四、二三七八、二三八二、二三八六、二三九〇、二三九四、二三九八、二四〇二、二四〇六、二四一〇、二四一四、二四一八、二四二二、二四二六、二四三〇、二四三四、二四三八、二四四二、二四四六、二四五〇、二四五四、二四五八、二四六二、二四六六、二四七〇、二四七四、二四七八、二四八二、二四八六、二四九〇、二四九四、二四九八、二五〇二、二五〇六、二五一〇、二五一四、二五一八、二五二二、二五二六、二五三〇、二五三四、二五三八、二五四二、二五四六、二五五〇、二五五四、二五五八、二五六二、二五六六、二五七〇、二五七四、二五七八、二五八二、二五八六、二五九〇、二五九四、二五九八、二六〇二、二六〇六、二六一〇、二六一四、二六一八、二六二二、二六二六、二六三〇、二六三四、二六三八、二六四二、二六四六、二六五〇、二六五四、二六五八、二六六二、二六六六、二六七〇、二六七四、二六七八、二六八二、二六八六、二六九〇、二六九四、二六九八、二七〇二、二七〇六、二七一〇、二七一四、二七一八、二七二二、二七二六、二七三〇、二七三四、二七三八、二七四二、二七四六、二七五〇、二七五四、二七五八、二七六二、二七六六、二七七〇、二七七四、二七七八、二七八二、二七八六、二二九〇、二二九四、二二九八、二三〇二、二三〇六、二三一〇、二三一四、二三一八、二三二二、二三二六、二三三〇、二三三四、二三三八、二三四二、二三四六、二三五〇、二三五四、二三五八、二三六二、二三六六、二三七〇、二三七四、二三七八、二三八二、二三八六、二三九〇、二三九四、二三九八、二四〇二、二四〇六、二四一〇、二四一四、二四一八、二四二二、二四二六、二四三〇、二四三四、二四三八、二四四二、二四四六、二四五〇、二四五四、二四五八、二四六二、二四六六、二四七〇、二四七四、二四七八、二四八二、二四八六、二四九〇、二四九四、二四九八、二五〇二、二五〇六、二五一〇、二五一四、二五一八、二五二二、二五二六、二五三〇、二五三四、二五三八、二五四二、二五四六、二五五〇、二五五四、二五五八、二五六二、二五六六、二五七〇、二五七四、二五七八、二五八二、二五八六、二五九〇、二五九四、二五九八、二六〇二、二六〇六、二六一〇、二六一四、二六一八、二六二二、二六二六、二六三〇、二六三四、二六三八、二六四二、二六四六、二六五〇、二六五四、二六五八、二六六二、二六六六、二六七〇、二六七四、二六七八、二六八二、二六八六、二六九〇、二六九四、二六九八、二七〇二、二七〇六、二七一〇、二七一四、二七一八、二七二二、二七二六、二七三〇、二七三四、二七三八、二七四二、二七四六、二七五〇、二七五四、二七五八、二七六二、二七六六、二七七〇、二七七四、二七七八、二七八二、二七八六、二二九〇、二二九四、二二九八、二三〇二、二三〇六、二三一〇、二三一四、二三一八、二三二二、二三二六、二三三〇、二三三四、二三三八、二三四二、二三四六、二三五〇、二三五四、二三五八、二三六二、二三六六、二三七〇、二三七四、二三七八、二三八二、二三八六、二三九〇、二三九四、二三九八、二四〇二、二四〇六、二四一〇、二四一四、二四一八、二四二二、二四二六、二四三〇、二四三四、二四三八、二四四二、二四四六、二四五〇、二四五四、二四五八、二四六二、二四六六、二四七〇、二四七四、二四七八、二四八二、二四八六、二四九〇、二四九四、二四九八、二五〇二、二五〇六、二五一〇、二五一四、二五一八、二五二二、二五二六、二五三〇、二五三四、二五三八、二五四二、二五四六、二五五〇、二五五四、二五五八、二五六二、二五六六、二五七〇、二五七四、二五七八、二五八二、二五八六、二五九〇、二五九四、二五九八、二六〇二、二六〇六、二六一〇、二六一四、二六一八、二六二二、二六二六、二六三〇、二六三四、二六三八、二六四二、二六四六、二六五〇、二六五四、二六五八、二六六二、二六六六、二六七〇、二六七四、二六七八、二六八二、二六八六、二六九〇、二六九四、二六九八、二七〇二、二七〇六、二七一〇、二七一四、二七一八、二七二二、二七二六、二七三〇、二七三四、二七三八、二七四二、二七四六、二七五〇、二七五四、二七五八、二七六二、二七六六、二七七〇、二七七四、二七七八、二七八二、二七八六、二二九〇、二二九四、二二九八、二三〇二、二三〇六、二三一〇、二三一四、二三一八、二三二二、二三二六、二三三〇、二三三四、二三三八、二三四二、二三四六、二三五〇、二三五四、二三五八、二三六二、二三六六、二三七〇、二三七四、二三七八、二三八二、二三八六、二三九〇、二三九四、二三九八、二四〇二、二四〇六、二四一〇、二四一四、二四一八、二四二二、二四二六、二四三〇、二四三四、二四三八、二四四二、二四四六、二四五〇、二四五四、二四五八、二四六二、二四六六、二四七〇、二四七四、二四七八、二四八二、二四八六、二四九〇、二四九四、二四九八、二五〇二、二五〇六、二五一〇、二五一四、二五一八、二五二二、二五二六、二五三〇、二五三四、二五三八、二五四二、二五四六、二五五〇、二五五四、二五五八、二五六二、二五六六、二五七〇、二五七四、二五七八、二五八二、二五八六、二五九〇、二五九四、二五九八、二六〇二、二六〇六、二六一〇、二六一四、二六一八、二六二二、二六二六、二六三〇、二六三四、二六三八、二六四二、二六四六、二六五〇、二六五四、二六五八、二六六二、二六六六、二六七〇、二六七四、二六七八、二六八二、二六八六、二六九〇、二六九四、二六九八、二七〇二、二七〇六、二七一〇、二七一四、二七一八、二七二二、二七二六、二七三〇、二七三四、二七三八、二七四二、二七四六、二七五〇、二七五四、二七五八、二七六二、二七六六、二七七〇、二七七四、二七七八、二七八二、二七八六、二二九〇、二二九四、二二九八、二三〇二、二三〇六、二三一〇、二三一四、二三一八、二三二二、二三二六、二三三〇、二三三四、二三三八、二三四二、二三四六、二三五〇、二三五四、二三五八、二三六二、二三六六、二三七〇、二三七四、二三七八、二三八二、二三八六、二三九〇、二三九四、二三九八、二四〇二、二四〇六、二四一〇、二四一四、二四一八、二四二二、二四二六、二四三〇、二四三四、二四三八、二四四二、二四四六、二四五〇、二四五四、二四五八、二四六二、二四六六、二四七〇、二四七四、二四七八、二四八二、二四八六、二四九〇、二四九四、二四九八、二五〇二、二五〇六、二五一〇、二五一四、二五一八、二五二二、二五二六、二五三〇、二五三四、二五三八、二五四二、二五四六、二五五〇、二五五四、二五五八、二五六二、二五六六、二五七〇、二五七四、二五七八、二五八二、二五八六、二五九〇、二五九四、二五九八、二六〇二、二六〇六、二六一〇、二六一四、二六一八、二六二二、二六二六、二六三〇、二六三四、二六三八、二六四二、二六四六、二六五〇、二六五四、二六五八、二六六二、二六六六、二六七〇、二六七四、二六七八、二六八二、二六八六、二六九〇、二六九四、二六九八、二七〇二、二七〇六、二七一〇、二七一四、二七一八、二七二二、二七二六、二七三〇、二七三四、二七三八、二七四二、二七四六、二七五〇、二七五四、二七五八、二七六二、二七六六、二七七〇、二七七四、二七七八、二七八二、二七八六、二二九〇、二二九四、二二九八、二三〇二、二三〇六、二三一〇、二三一四、二三一八、二三二二、二三二六、二三三〇、二三三四、二三三八、二三四二、二三四六、二三五〇、二三五四、二三五八、二三六二、二三六六、二三七〇、二三七四、二三七八、二三八二、二三八六、二三九〇、二三九四、二三九八、二四〇二、二四〇六、二四一〇、二四一四、二四一八、二四二二、二四二六、二四三〇、二四三四、二四三八、二四四二、二四四六、二四五〇、二四五四、二四五八、二四六二、二四六六、二四七〇、二四七四、二四七八、二四八二、二四八六、二四九〇、二四九四、二四九八、二五〇二、二五〇六、二五一〇、二五一四、二五一八、二五二二、二五二六、二五三〇、二五三四、二五三八、二五四二、二五四六、二五五〇、二五五四、二五五八、二五六二、二五六六、二五七〇、二五七四、二五七八、二五八二、二五八六、二五九〇、二五九四、二五九八、二六〇二、二六〇六、二六一〇、二六一四、二六一八、二六二二、二六二六、二六三〇、二六三四、二六三八、二六四二、二六四六、二六五〇、二六五四、二六五八、二六六二、二六六六、二六七〇、二六七四、二六七八、二六八二、二六八六、二六九〇、二六九四、二六九八、二七〇二、二七〇六、二七一〇、二七一四、二七一八、二七二二、二七二六、二七三〇、二七三四、二七三八、二七四二、二七四六、二七五〇、二七五四、二七五八、二七六二、二七六六、二七七〇、二七七四、二七七八、二七八二、二七八六、二二九〇、二二九四、二二九八、二三〇二、二三〇六、二三一〇、二三一四、二三一八、二三二二、二三二六、二三三〇、二三三四、二三三八、二三四二、二三四六、二三五〇、二三五四、二三五八、二三六二、二三六六、二三七〇、二三七四、二三七八、二三八二、二三八六、二三九〇、二三九四、二三九八、二四〇二、二四〇六、二四一〇、二四一四、二四一八、二四二二、二四二六、二四三〇、二四三四、二四三八、二四四二、二四四六、二四五〇、二四五四、二四五八、二四六二、二四六六、二四七〇、二四七四、二四七八、二四八二、二四八六、二四九〇、二四九四、二四九八、二五〇二、二五〇六、二五一〇、二五一四、二五一八、二五二二、二五二六、二五三〇、二五三四、二五三八、二五四二、二五四六、二五五〇、二五五四、二五五八、二五六二、二五六六、二五七〇、二五七四、二五七八、二五八二、二五八六、二五九〇、二五九四、二五九八、二六〇二、二六〇六、二六一〇、二六一四、二六一八、二六二二、二六二六、二六三〇、二六三四、二六三八、二六四二、二六四六、二六五〇、二六五四、二六五八、二六六二、二六六六、二六七〇、二六七四、二六七八、二六八二、二六八六、二六九〇、二六九四、二六九八、二七〇二、二七〇六、二七一〇、二七一四、二七一八、二七二二、二七二六、二七三〇、二七三四、二七三八、二七四二、二七四六、二七五〇、二七五四、二七五八、二七六二、二七六六、二七七〇、二七七四、二七七八、二七八二、二七八六、二二九〇、二二九四、二二九八、二三〇二、二三〇六、二三一〇、二三一四、二三一八、二三二二、二三二六、二三三〇、二三三四、二三三八、二三四二、二三四六、二三五〇、二三五四、二三五八、二三六二、二三六六、二三七〇、二三七四、二三七八、二三八二、二三八六、二三九〇、二三九四、二三九八、二四〇二、二四〇六、二四一〇、二四一四、二四一八、二四二二、二四二六、二四三〇、二四三四、二四三八、二四四二、二四四六、二四五〇、二四五四、二四五八、二四六二、二四六六、二四七〇、二四七四、二四七八、二四八二、二四八六、二四九〇、二四九四、二四九八、二五〇二、二五〇六、二五一〇、二五一四、二五一八、二五二二、二五二六、二五三〇、二五三四、二五三八、二五四二、二五四六、二五五〇、二五五四、二五五八、二五六二、二五六六、二五七〇、二五七四、二五七八、二五八二、二五八六、二五九〇、二五九四、二五九八、二六〇二、二六〇六、二六一〇、二六一四、二六一八、二六二二、二六二六、二六三〇、二六三四、二六三八、二六四二、二六四六、二六五〇、二六五四、二六五八、二六六二、二六六六、二六七〇、二六七四、二六七八、二六八二、二六八六、二六九〇、二六九四、二六九八、二七〇二、二七〇六、二七一〇、二七一四、二七一八、二七二二、二七二六、二七三〇、二七三四、二七三八、二七四二、二七四六、二七五〇、二七五四、二七五八、二七六二、二七六六、二七七〇、二七七四、二七七八、二七八二、二七八六、二二九〇、二二九四、二二九八、二三〇二、二三〇六、二三一〇、二三一四、二三一八、二三二二、二三二六、二三三〇、二三三四、二三三八、二三四二、二三四六、二三五〇、二三五四、二三五八、二三六二、二三六六、二三七〇、二三七四、二三七八、二三八二、二三八六、二三九〇、二三九四、二三九八、二四〇二、二四〇六、二四一〇、二四一四、二四一八、二四二二、二四二六、二四三〇、二四三四、二四三八、二四四二、二四四六、二四五〇、二四五四、二四五八、二四六二、二四六六、二四七〇、二四七四、二四七八、二四八二、二四八六、二四九〇、二四九四、二四九八、二五〇二、二五〇六、二五一〇、二五一四、二五一八、二五二二、二五二六、二五三〇、二五三四、二五三八、二五四二、二五四六、二五五〇、二五五四、二五五八、二五六二、二五六六、二五七〇、二五七四、二五七八、二五八二、二五八六、二五九〇、二五九四、二五九八、二六〇二、二六〇六、二六一〇、二六一四、二六一八、二六二二、二六二六、二六三〇、二六三四、二六三八、二六四二、二六四六、二六五〇、二六五四、二六五八、二六六二、二六六六、二六七〇、二六七四、二六七八、二六八二、二六八六、二六九〇、二六九四、二六九八、二七〇二、二七〇六、二七一〇、二七一四、二七一八、二七二二、二七二六、二七三〇、二七三四、二七三八、二七四二、二七四六、二七五〇、二七五四、二七五八、二七六二、二七六六、二七七〇、二七七四、二七七八、二七八二、二七八六、二二九〇、二二九四、二二九八、二三〇二、二三〇六、二三一〇、二三一四、二三一八、二三二二、二三二六、二三三〇、二三三四、二三三八、二三四二、二三四六、二三五〇、二三五四、二三五八、二三六二、二三六六、二三七〇、二三七四、二三七八、二三八二、二三八六、二三九〇、二三九四、二三九八、二四〇二、二四〇六、二四一〇、二四一四、二四一八、二四二二、二四二六、二四三〇、二四三四、二四三八、二四四二、二四四六

# 家庭サービスセンターの おしらせ

お宅のはかりは正確？  
3日に無料で検査します

千葉県計量協会では、ヘルスメーター、キッチンスケール、体温計など家庭用計量器の無料検査を実施します。家庭で使われている「はかり」は検査の義務がないため、とかく不正確になりがち。このチャンスに検査を受けて、正しい計量器を使用して合理的な暮らしを。

○とき 三月三日(金) 午前10時～午後3時 ○ところ 消費生活センター(ファミリーかしわ三階) ○電話 63-158533

入学祝金などもらえます  
対象は母子家庭の方

母子家庭で、今春四月にお子さんか小・中・高校へ入学する方と、中学校を卒業して就職する方は祝金がかかります。ただし、柏市母子福祉推進員に申し出た方はパスオールの

## 市民の声

### ビル火災の対策は万全ですか

柏市にも、高層ビルがふえています。万一の場合に備えて、消防署には、レスキュータワー車などが配置されているのでしょうか。爆発事故や地震のニュースを聞くたびに不安を感じます。  
【お答え】市には高層ビル火

### 育児相談の日程

と	き	と	こ	ろ
3月6日(月)	7日(火)	9日(木)	10日(金)	13日(月)
14日(火)	16日(木)	17日(金)	南 部 青 年 館	市 民 口 年 館
			西 原 青 年 館	社 会 福 祉 セ ン タ ー
			藤 心 第 三 青 年 館	柏 ヤ ン グ プ ラ マ
			(勤 労 青 少 年 ホ ー ム)	千 代 田 近 隣 セ ン タ ー
			豊 四 季 団 体 集 会 所	

○用意するもの 母子健康手帳、パスポートなど

除きます。  
○税金 六千五百円 ○申し込み 三月九日(木)までに養育者の印鑑をお持ちのうえ、市役所一階婦人児童課(内線二二九)へ申請して下さい。

育児でお悩みの方  
保健婦が相談に応じます

保健婦による育児相談が別表のとおり行われます。  
○受付時間 午後一時半～三時

児童手当の申請お早めに  
婦人児童課で手続きを

市役所婦人児童課では、児童手当の申請を受け付けています。現在、児童手当を受けていない方で次の要件に該当する方はお早めに手続きをしてください。  
○支給要件 義務教育終了前の児童を含む十八歳未満のお子さんを三人以上養育し、昭和五十一年分の所得が児童手当所得制限内(扶養四人の場合は三百二十六万六千円未満)の方  
○支給額 三人目のお子さんからは一人につき月額五千円  
○申請手続き 養育者の印鑑、健康保険証、普通預金通帳(養育者名義で市内の銀行または農協の

もの)をお持ちのうえ婦人児童課(内線二二九)で手続きを。公務員、三公社等にお勤めの方は勤め先で申請して下さい。  
なお、現在、児童手当を受けている方で、今後転居や転居(一部転出、転居も含む)、出生、死亡、金融機関の変更などがあつたときにもご連絡下さい。

冠婚葬祭のマナー教えます  
7日に暮らしの講座

結婚式には洋式、和式、会員制といろいろな形式があつて、困るのは呼ばれた側のマナー。また、近所に不幸があつて葬儀に参列するのだがマナーがわからないで困ります。そこで「冠婚葬祭のマナー」と題して暮らしの講座が開かれます。冠婚葬祭にあつて、参列者側がどのような態度で出席したらよいか、わかりやすく説明します。  
○とき 三月七日(火) 午前10時～正午 ○ところ 消費生活センター(ファミリーかしわ三階)  
○定員 七十人 ○費用 無料  
○申し込み 二月(木)午前10時から消費生活センター(63-158533)へ電話か直接おいでを。

宮根遺跡などを見学  
6日に文化財めぐり

○とき 三月六日(月) 午前九時～正午(雨天中止)  
○コース こんぶろ池→布施弁天→宮根遺跡など九カ所  
○対象 市内に在住、在勤の方  
○定員 五十人 ○費用 無料  
○申し込み 三月二日(木)午前八時半から教育委員会社会教育課へ直接おいでを、電話による申し込みは受け付けません。  
○集合場所 六日(月) 午前八時四十五分までに市役所玄関前へ  
○問い合わせ 社会教育課(64-1332代)へ。

梅の盆栽展11日から  
中央公民館で60鉢展示

柏樹会、中央公民館の主催で梅および松の盆栽約六十鉢の展示会が開かれます。  
○とき 三月十一日(土)・十二日(日) 午前10時～午後四時 ○ところ 中央公民館

心臓病の無料検診  
12日松戸市民会館で

心臓病の子どもの守る会では松戸地区(松戸・柏・流山・野田・我孫子)を対象に、心臓病の無料検診と医療相談を行います。先天性、後天性の心臓病のお子さんはもちろん、成人の方の受診、相談も受け付けます。また、手術を経験された方も出席していただけます。日ごろ心配に思っている方はぜひどうぞ。  
○とき 三月十二日(日) 午後一時～四時 ○ところ 松戸市民会館(四七三-67-191-76、国電松戸駅東口下車徒歩五分) ○医師 田宮達男氏(国立千葉病院心臓センター医師) ○問い合わせ 心臓病の子どもの守る会 会長・田中操(72-0824)方へ。

酒害相談のご利用を  
家族と一緒に行い

酒を飲むと乱暴して困るとかやめたいのだがどうもうまくいかない、という方に酒害相談員が相談に応じます。本人とご家族の方がご一緒どうぞ。  
▼中央公民館 ○とき 三月八日(午後六時～八時半)・十日(午後二時～四時)・十二日(午後六時～八時半)  
▼市民サロン ○とき 三月十二日(正午～午後五時)

3月19日は清水公園で  
オリエンテーリングを

「第三回東葛地区勤労者オリエンテーリング大会」が次のとおり開かれます。  
○とき 三月十九日(日) 午前10時集合 ○ところ 野田市清水公園(入口集合) ○種目 一般、家族部(百二十人)  
○参加費 三百円(昼食は各自持参) ○申し込み 十日(金)までに市川労政事務所(市川市真間一十九、電話0473-221-294)で手続きを。  
さらに万全の備えを  
テレビの防災番組で

### 寄せられた喜意

2月1日～15日

▽石川聡さん(逆井) 二千元  
▽前田隆さん(豊四季台四丁目) 三千元  
▽加藤恵子さん(豊四季台四丁目) きぬこみ人形  
▽お茶太郎(中央二丁目) お茶八キロ  
▽公設市場船橋水産 三万八千七百円  
▽地引喜久代さん(あけぼの) 五千二百八十八円  
▽落合つるさん(光ヶ丘) 三千六百二十四円  
▽柏保健所 十万円  
▽柏地区同盟 九万八千八百八十七円  
▽水岡建設水友会 七万九千二百四十四円  
▽柏市生花協会 五万六千円  
▽勝田会計事務所 三万八千九百一十一円  
▽九千七百七十七円

### 春休み親子施設見学会 今日29日に実施

○とき 三月二十九日(水) 午前九時～午後四時 ○見学会場 消防署、清掃工場、図書館、布産天、工場など ○対象 小中学生と親(小学生は父兄同伴で) ○定員 先着五十人 ○会費 無料(昼食は各自持参) ○申し込み 二日(木)から広報広聴課(市民相談室・内線三三九)へ電話で。

### 少年野球の連盟加入を 新チームの登録募集

柏市少年野球連盟では、昭和五十三年度の新規加入チームを募集します。

### 10日健康管理の講演会 講師に杉靖三郎氏

市内の商業経営者および市民の方を対象に健康管理のための講演会が開かれます。  
○とき 三月十日(金) 午後二時～三時半 ○ところ 柏商工会議所(67-181-91)  
○講師 杉靖三郎氏(東京教育大学名誉教授、医学博士)  
○入場料 無料

### 酒害相談のご利用を 家族と一緒に行い

酒を飲むと乱暴して困るとかやめたいのだがどうもうまくいかない、という方に酒害相談員が相談に応じます。本人とご家族の方がご一緒どうぞ。  
▼中央公民館 ○とき 三月八日(午後六時～八時半)・十日(午後二時～四時)・十二日(午後六時～八時半)  
▼市民サロン ○とき 三月十二日(正午～午後五時)

### 心臓病の無料検診 12日松戸市民会館で

心臓病の子どもの守る会では松戸地区(松戸・柏・流山・野田・我孫子)を対象に、心臓病の無料検診と医療相談を行います。先天性、後天性の心臓病のお子さんはもちろん、成人の方の受診、相談も受け付けます。また、手術を経験された方も出席していただけます。日ごろ心配に思っている方はぜひどうぞ。  
○とき 三月十二日(日) 午後一時～四時 ○ところ 松戸市民会館(四七三-67-191-76、国電松戸駅東口下車徒歩五分) ○医師 田宮達男氏(国立千葉病院心臓センター医師) ○問い合わせ 心臓病の子どもの守る会 会長・田中操(72-0824)方へ。

### 国鉄コンテナの利用を おたくの引越越しに

新しい暮らしが始まる引越越し。準備はどのようにお進めですか。スケジューリングが決まりましたら国鉄コンテナをご利用下さい。引越越しのベテランがおたくの荷物を大切に運びます。  
○問い合わせ 隅田川貨物営業センター(03-1807-8384・8808)へ。

### 【訂正】本紙二月十五日号 の二面、国立柏病院の記事中、 国立療養所柏病院院長の氏名が 「篠崎幸一」とありましたのは 「篠崎幸一」の誤りでした。 お詫びして訂正いたします。

【訂正】本紙二月十五日号の二面、国立柏病院の記事中、国立療養所柏病院院長の氏名が「篠崎幸一」とありましたのは「篠崎幸一」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。